

## 江見3地区 地区別説明会の概要について

### I 江見地区

- 1 日時 平成26年2月12日（水） 19時から20時15分まで
- 2 場所 江見小学校体育館
- 3 出席者 住民40人参加

### II 太海地区

- 1 日時 平成26年2月13日（木） 19時から20時15分まで
- 2 場所 太海小学校体育館
- 3 出席者 住民16人参加

### III 曾呂地区

- 1 日時 平成26年2月17日（月） 19時から20時20分まで
- 2 場所 曾呂小学校体育館
- 3 出席者 住民17人参加

## IV 各会場別の要望・意見の概要（※太字は通学関係の意見、要望）

### 【江見地区】

- 統合小学校2階（多目的スペース、図書スペース）に新設される屋外階段について位置、形状などの質問があった。階段の位置については屋外で遊ぶ子ども達の安全を見守る際の見通しの良さなどを考慮し、学校の先生方と協議して決めたこと、図面中の階段の形状は設計途中のものであり、現時点では出口の位置が少し変わることに、折り返しのない直線形状を予定していることを説明した。
- 統合小学校のトイレの使い勝手（数量）について質問があった。少ないと思われるかもしれないが、建築基準法に基づく設置数を満たすよう設置数を決めていることを説明した。
- 旧中学校の畑が校舎裏側で距離が遠いため、小学生への配慮を求める意見があった。畑の位置については現在検討中であるため、今後、位置が決まったら知らせていきたいと説明した。
- **通学バスについて、北区は難しいと思うが、せめて江見小学校には行き帰りともにバスを回して欲しい。子ども達が待ってられる場所が欲しいので、小学校の中までが無理ならば入口まで寄せて欲しいと要望があった。**
- **江見公民館前のバス停にトラックが突っ込んだ事故が発生したことから、ガードレール、車止めなど、バス待機中の安全対策の実施について要望があった。**  
（区長さんから住民の皆さんへ、バス停はバス会社や市が整備するものではなく、区が中心となって整備している。安全対策についても区が中心となって進めていかなければならないので、ご理解くださいと補足説明があった。）
- **バス停と通学バスのルートを早く決めていただき、周知をお願いしたい。また、旧道活用の検討、バス停までの距離を考慮して乗車場所を検討していただきたいと要望があった。**

- 学童保育について、アンケート調査で検討中であった方にも再度取りまとめをお願いしたいと要望があった。また、朝の時間帯に学童保育の利用ができないか質問があり、通常は放課後のみの対応であることを福祉課から説明するとともに、学校教育課からは、例えば、朝7:40に学校昇降口を開けた以降は、学校の管理下で子ども達を見守っているという考えを示した。
- **バスの運行時刻は何時頃を予定しているのか質問があったが、具体的なルート等の検討がこれからであるため、今後協議していく予定であると回答した。**
- 統合後の校名、園名は江見小学校・江見幼稚園・江見保育園に決まったが、長狭学園のような総称を考えているのか質問があった。江見幼稚園、江見保育園については江見こども園の名称を考えているが、小学校を含めた総称は予定していないと答えた。

#### 【太海地区】

- 江見3地区学校施設等統合整備検討委員会委員の任期について質問があり、学校評議員を加えてはどうかと意見があったが、現在の委員構成で考えていると答えた。
- コンクリートの建物の耐用年数は70年と聞いているが、旧江見中学校は建築後40年が経過している。既存の校舎を改修しながら、この後30年間使用していく考えなのかと質問があった。検査の結果、コンクリートの強度に問題はないことから既存校舎を改修して使用していく考えであることを説明した。
- プール及び自転車置場の改修について質問があった。プールについては、水深1.3~1.1mの中学生仕様を20cm浅い小学生仕様に改修していくこと、自転車置場については小学生には必要ない施設であるため、駐車場にしていく予定であると説明した。
- 1年生が2クラスで予定されているのはなぜか質問があった。通常は40人学級であるが、1年生だけは環境の変化に配慮し、35人学級が認められていることから、統合小学校開校時の1年生は2クラスを予定していることを説明した。
- 旧江見中学校にあった用務員室が図面に無いことから、用務員を配置しないのか質問があった。用務員は配置する予定であり、勤務中は職員室にいることが多く、相談室が休憩する場所となる予定であることを説明した。
- 耐震補強のブレス設置は1箇所でよいのか質問があった。耐震補強の方法については、第三者委員会の判定をいただき、認められた工法となっていると説明した。
- **通学バスは何人くらい乗れるのか質問があり、鴨川中学校のスクールバスに使用しているタイプでは、立ち乗りを含めて80人くらい可能であると説明した。このことについて、小学生ではつり革に届かない子どももいるので、なるべく全員が座れるようにしてほしいと要望があった。**
- 学童保育の指導員は教育委員会が探してくれるのか。また、資格が必要なのか質問があった。学童保育については、保護者の運営であることから、保護者が指導員

を探ること、これまでの例では複数の指導員のうち、1名は小学校教諭や幼稚園教諭、保育士などの資格を持っている方が入っていると説明した。

- 学童保育の場所はどこを予定しているのか質問があった。当初は格技館を予定していたが、現在は未定である。しかし、施設内での実施を予定していることを説明した。

#### 【曾呂地区】

- 校名、園名が決定されるまでの詳細な経緯について質問があった。委員会での募集要項の検討から、公募の実施・集計状況、最終的な候補名での協議などについて説明を行った。
- 応募者のうち子ども達はどのくらいの割合であったのか、また、子ども達の思いを考慮してくれたのか質問があった。既存の小学校と同一名称の応募者の内訳として、「江見小」では17名、「曾呂小」では3名、「太海小」では2名であった結果と子ども達の思いも含めて検討を行ったことを説明した。
- 施設設計については、あと何回ぐらい検討を重ねるのか、また、最終的な期限はいつまでで、要望の反映はできるのか質問があった。設計については、委員会で大筋の合意をいただき、現在は先生方との調整を行っている状況であり、決定していないのではなく、詳細を詰めている段階であると説明した。
- 木工室、金工室、格技館は小学校では使わないのか質問があった。小学校としては使用予定がないと説明した。
- 江見中卒業生の体験談から、旧江見中学校校舎は、段差が多くて死角ができやすく、また、屋上に容易に出ることができることから、安全対策は施設面から実施するのか、開校後の先生方の指導によって行うのか質問があった。質問事項を踏まえて今後安全対策に配慮していくことを説明した。
- 用務員室が無いことについて質問があった。用務員は配置する予定であり、相談室を用務員の休憩場所として計画していることを説明した。
- 校舎1階のトイレに和式トイレがあることについて質問があった。和式、洋式の便器の数については、先生方と調整して決めていると説明した。
- プール側の駐車場の奥に農地を保有しているが、駐車場をフェンスで囲むことはないのか質問があった。農地への出入りもあることから、フェンスで囲むことは計画していないと説明した。